

郷土の歴史 355

八潮の地名考

大曾根の地名 その壺



大曾根 現八潮市大字大曾根の地名。大曾根は、綾瀬川左岸の沖積地に位置し、自然堤防上に集落が発展、武蔵国の埼玉郡と足立郡の郡境に位置する。地名の起立は、大きな微高地に因むとされる(八潮の民俗資料二)。大曾根の対岸の花畑は、正平七年(三五)五月二十四日『尾陽雜記』にみえる「足立郡内花畑郷」で、また花畑は、中世の「奥州海道ノ渡津アリシ所」(新編武蔵風土記稿)で、陸上・水上の交通の要衝「鷲宿」として栄えた。鷲宿から対岸の大曾根へ

の渡河地は、関家と言われ、河間がおかれた所であったとみられる(大曾根社誌)。文亀四年(五〇)の合戦を記す『六ヶ村茶山由緒著聞書』(清浄院文書)にみえる大曾根上野介は、大曾根の地名を名乗りとした。大曾根氏は楠木小膳らと同族と見えることから、大曾根豊田一族のことと、推測される。また大曾根八幡神社は、文亀二年(五〇)の勧請と言われる(鳥居篇額鑑)。大曾根村 近世初期から明治二十二

年までの村名。近世期における大曾根村の支配は、天正十八年(五五)から幕府領、寛文二年(六三)二月二十二日に森川領となり、明治維新まで旗本森川下総守家の支配地であった。隣村は、東は大原村、南は浮塚村、北は西袋村・中馬場村、西は綾瀬川を隔てて足立郡花畑村(足立区)など、東西八町・南北一〇町の村であった。検地は、寛永四年(三三)、村高は五九二石二升五合・反別八七町二反二畝六分、内田が六三町五反八畝七歩で水田優位の村落。万治三年(三〇)の「子歳大曾根村年貢割付状」によると、上田一三町六反九畝二〇歩・中田一二町九反一七歩・下田一二町九反四畝四歩などの二四九石五斗一升四合・永一四畝九三八文で有った。大曾根村には、大曾根村新田と大曾根村から村切(独立)した大曾根村新田権兵衛組・大曾根村新田平次右衛門組などがあり、新田開発地は

幕府領であった。大曾根村新田は、本所用水堀跡の新田開発地、享保十八年(七三)に検地され、高四斗であった。天保六年(二六)の「八条領村鑑」による大曾根村の家数は、八二軒、人別四五四人、名主役高四二石であった。鎮守八幡宮は、地頭森川家の氏神として、寛文十一年(二七)に三石、後元禄十五年(七〇)に二石の、五石(五反歩)の寺領が寄付され、黒印状を有した神社であった。河川排水路は、八条用水路は一五二間、古利根川中川筋藻刈組合(八石九斗余)が三間、綾瀬川筋藻刈組合(五八三石余)等を管轄した。明治期の大曾根村は、明治二年(六六)に小菅県、同四年に埼玉県となる。同七年に大曾根新田平次右衛門組と大曾根新田権兵衛組と合併、同十二年の郡制により南埼玉郡大曾根村となり、同二十二年(八八)の町村制により南埼玉郡八幡村の大字

となり、現在に至る。大曾根新田平次右衛門組 延享年間から明治七年までの村名。村名は、西袋村の民、平次右衛門らの手により新田開発したことに因む。新田地はヤシントンと称され、享保十二年(三七)以降の綾瀬川改修に伴い延享二年(七五)に西袋村の民栗原平次右衛門ら五名が古綾瀬川を開発した区域が村域となった。民の家は、栗原(西袋連華寺)、戸張(吉川延命寺)、新井・関根(八条西勝院)、田中(二丁目西蓮寺)姓らで、旦那寺はそれぞれ出身地の寺院と結縁していた。大曾根新田権兵衛組 宝暦三年から明治七年の村名。村名は、大曾根村の民、権兵衛が新田開発したことに因む。この新墾地は、宝暦三年(三五)の綾瀬川縁の新田地で、権兵衛なる者が開発、無民家村、幕府領で代官支配を受けた。

文芸欄

呉美代選

詩

短歌

朝露のように 八潮五 西森八重子
―田中元三さんを悼んで―
最後にお会いしたのは
二月も終わる寒い日の病室
酸素マスクをつけ、苦しそうだつた
握り返すことのない手を
私はそと取って励ました
インフルエンザで、こんなに早く
命を落としてしまわれるとは―
遺影のあなたの目は
どうしたの?と私に問いかけていた
あなたは朝露のきらめきを
私たちの中に残して逝ってしまった
(評) 田中元三さんが急逝され、大変残念です。心よりお悔み申し上げます。最期にお見舞いされ、よかったですね。

雑の宵の明かり点すに込み上ぐる 九時半の少女の無念さ 柳之宮 平沼良子
水温み厨も温し烈烈む まな板かすかに柚子の残り香 八 條 種村幸子
ひたすらに生きるを歌う旧友に 孤独の深さを改めて知る 八潮五 林悦子
秩父路の巡礼の道梅香り 三十四ヶ寺無事結願す 中央一 猪瀬利助
底冷えする街角に見し喪の人の 安らかなれとしばし祈りぬ 南川崎 松谷永子
あなたへの深い思いを断ち切りて 別れを告げし春の夕ぐれ 二丁目 平井石龍

俳句

啓蟄や甲羅干す亀石となる 大曾根 横山英道
如月や日足伸びて若芽出ず 大曾根 古根昌明
先客の猫に断わる日向ぼこ 緑町五 藤波ふみ
老梅や支えの杖にもたれ映く 大曾根 日方美代子
梅林に野立ての茶会にぎわいぬ 大曾根 椎野さち子
天を射る黒き老木梅一輪 緑町五 村田恭子
沈丁花香り立つ日を待ちにけり 西袋 鈴木厚子
うるう年四年に一度の誕生日 八潮七 石井忠枝
白梅に交じり紅梅寺の庭 八潮七 茂村つ留
門前に立つ修業僧冬しぐれ 鶴ヶ曾根 齊藤初子
梅園の野点一人は異邦人 晩学や俄か仕立の春の服 八潮七 小倉孝義

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。
【応募先】〒340-8588 八潮市中央一丁目一、八潮市役所広聴広報課係

行ってみいたいな となりまち 近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。

草加市: 春のフリーマーケット 4月30日(日)、午前10時から午後3時 (雨天の場合は5月3日に順延) 草加松原遊歩道 (松原団地駅下車徒歩5分) 出店予定数300区画 草加フリーマーケット市民の会事務局・新井 ☎090-3211-0396

松伏町: 平成の楽市楽座 来場者はもちろん、出店者も町内外を問わず募集しています! 4月23日(日)、午前9時から正午 (雨天中止) ※毎月第4日曜日開催 リサイクルふれあい広場 (松伏郵便局ならび) フリーマーケット 松伏町商工会 ☎92-1771

三郷市: 第5回三郷市民演劇祭 4月29日(祝)・30日(日)、午後1時開演 三郷市鷹野文化センター (三郷駅から金町駅行きバス「八木郷橋」下車徒歩3分) 近隣高校演劇部ほか7団体による 無料 (整理券配布中) 三郷市鷹野文化センター ☎56-9010

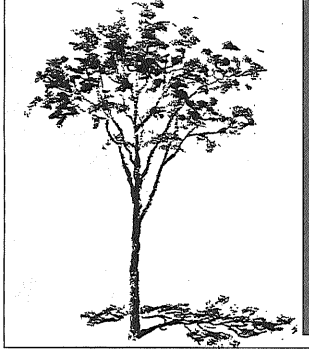
吉川市: 劇団「貝の火」公演 こどもの日に夢のある楽しい劇を。 5月5日(祝)、午後2時開演 吉川市児童館ワンダーランド (吉川駅から徒歩10分) 「魔法のランプ」 無料 (先着150人) 児童館ワンダーランド ☎81-6811

越谷市: サンシティクラシック・ティータイムコンサート 上の森プラス 5月13日(土)、午後2時から サンシティ・小ホール 聖者が町にやってくる ほか 指定席3500円、自由席3000円 (学生各1000円引き) 越谷コミュニティセンター ☎85-1111

郷土の歴史 356

八潮の地名考

大曾根の地名 その式

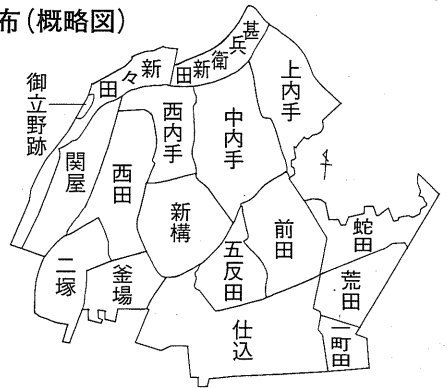


大字大曾根・大曾根 明治二十二年(一八八九)から現在に至る、南埼玉郡八幡村・八潮村・八潮町・八潮市の大字名。昭和三十一年(一九五六)、三か村が合併のおり大曾根を大曾根に改めた。

大曾根の小字地名表

Table with 4 columns: 新編武蔵風土記稿 1820年頃, 地租改正地引絵図 1876年, 八潮町公図 1972年, 地名の由来. It lists various sub-locations like 荒田耕地, 仕込耕地, etc., and their historical origins.

大曾根の字分布(概略図)



文芸欄

詩

叔母 叔母が亡くなった 太平洋戦争の末期に 叔母は東京で空襲を受け 焼け出されて着のみ着のまま 風呂敷包み一つで生家に帰ってきた...

短歌

鶴ヶ曾根 安藤知晃 へらいなき歌詠み籠を垂れ給う 田中元三先達よ嗚呼 南川崎 伊本則子 つくば峰をはるかかなたに望む橋...

呉美代選

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。【応募先】〒340-8588八潮市中央一丁目一、八潮市役所広聴広報課広聴広報係

俳句

八潮五 小島しず子 ヒロ君とその名呼びつつ遠くなる 曇りの空の桜のトンネル 鶴ヶ曾根 齊藤道子 吹雪くるさくらの下にわれ待てば...

Community notice section for 三郷市, 吉川市, 越谷市, and 草加市. Includes information about library openings, concerts, and local events.